

ワークショップ『同盟と安全保障』

6月25日(水)開催

4月のオバマ大統領のアジア歴訪に際し、日本のみならず、東南アジア諸国と米国との関係も、新しい枠組みがいくつか打ち出された。同盟とは、価値・利害を共にする国家同士が共通の敵・脅威に対抗するものであり、脅威の性質によって同盟が変容するのは、冷戦終結以降の国際関係ではすでに当たり前のこととなりつつある。

本ワークショップは、同盟に関する若手研究者を集結させ、彼らの発表に対して第一線の研究者による討論という形式を採用し、旧来の枠組みにとらわれない活発な議論を行うものである。様々な角度から同盟に光を当てることは、今日の日本を取り巻く国際関係を再考するに有効な手立てとなり得る。

ワークショップ内容

日時:6月25日(水) 13:00-16:00

場所:グローバルフロント4階 404R 教室

- 13:00~13:05 開会の挨拶: Tom Wilkins (The Univ. of Sydney and Visiting Professor, Meiji Univ.)
伊藤剛(明治大学国際総合研究所 政治経済学部教授)
- 13:05~13:55 報告1: 鎌江一平(明治大学国際総合研究所共同研究員)
「日米同盟」
討論: Tom Wilkins (The Univ. of Sydney and Visiting Professor, Meiji Univ.)
- 14:05~14:55 報告2: 小田桐確(明治大学兼任講師)
「NATO」
討論: 吉崎知典(防衛研究所)
- 15:05~15:55 報告3: 清水文枝(明治大学大学院)
「米比同盟」
討論: 伊藤剛(明治大学国際総合研究所 政治経済学部教授)
- 15:55~16:00 閉会の挨拶: 伊藤剛(明治大学国際総合研究所 政治経済学部教授)

※報告1. とその討論のみ使用言語は英語